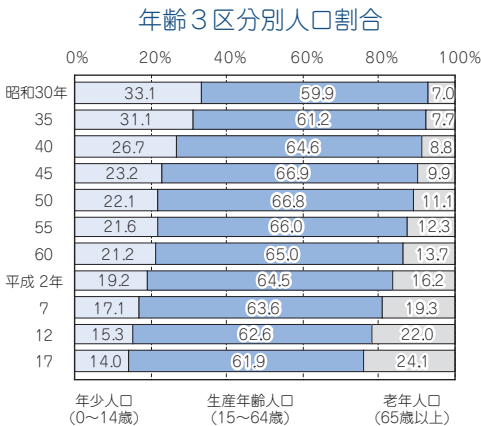
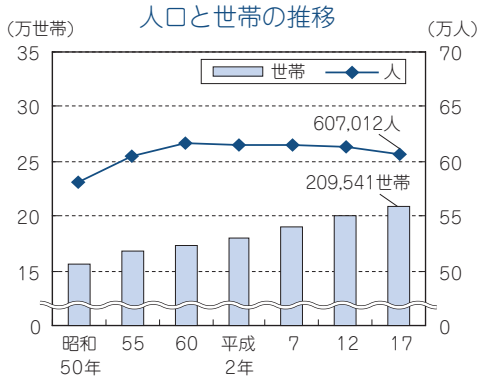


# 人 口

## 人口に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
人口密度(1km <sup>2</sup> 当たり)	169.6人	37	342.4人	20
老年人口割合(65歳以上)	25.5%	13	22.1%	20
自然増加率(人口千人当たり)	△ 3.1%	38	△ 0.4%	20

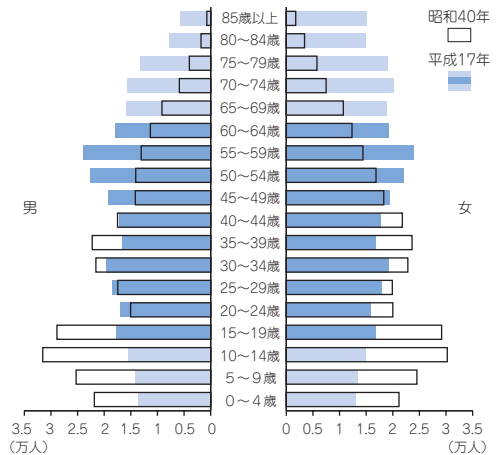


## (人 口)

平成17年の国勢調査によると、本県の人口は607,012人、総世帯数は209,541世帯で、平成12年に比べ、人口は6,277人の減少、総世帯数は8,474世帯の増加となっており、平成17年の1世帯あたりの人員は2.83人で、平成12年に比べ、0.17人の減少となっています。

年齢3区分別人口割合の推移を見ると、年少人口(0~14歳)割合は、低下傾向で推移する一方、老年人口(65歳以上)割合は、上昇傾向で推移した結果、本県の人口ピラミッドはピラミッド型からひょうたん型の人口構成になっています。

### 鳥取県の人口ピラミッド



## 世帯数及び人口 (各年10月1日)

年次	世帯数 (総世帯)	人口			前回に対する人口増減		1世帯当たり 人員	人口密度 (1km <sup>2</sup> 当たり)
		総数	男	女	人	%		
	世帯	人	人	人	人		人	人
昭和50年	156,826	581,311	277,151	304,160	12,534	2.2	3.69	166.5
55	168,520	604,221	289,946	314,275	22,910	3.9	3.54	173.0
60	173,211	616,024	295,511	320,513	11,803	2.0	3.51	176.4
平成2年	179,829	615,722	294,899	320,823	△ 302	△ 0.0	3.38	176.0
7	189,405	614,929	294,414	320,515	△ 793	△ 0.1	3.20	175.3
12	201,067	613,289	293,403	319,886	△ 1,640	△ 0.3	3.00	174.9
17	209,541	607,012	290,190	316,822	△ 6,277	△ 1.0	2.83	173.1

資料 総務省統計局「国勢調査」

(世 帯)

平成17年の国勢調査によると、親族人員別一般世帯数の割合は、1人世帯及び2人世帯の割合の合計が全体の半数以上となっています。

また、家族類型別一般世帯割合の推移では、単独世帯の割合が、上昇傾向で推移する一方、三世代同居世帯の割合は低下傾向で推移しています。

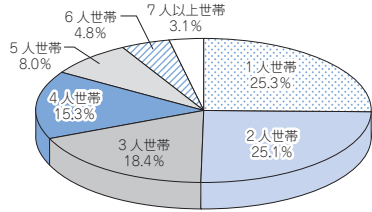
(未婚率)

昭和50年から平成17年までの年齢階級別未婚率の推移を見ると、男性・女性とも各年齢階級において上昇傾向となっています。昭和50年に比べ、女性の25～29歳では36.1ポイントの上昇、男性の30～34歳では34.6ポイントの上昇となっています。

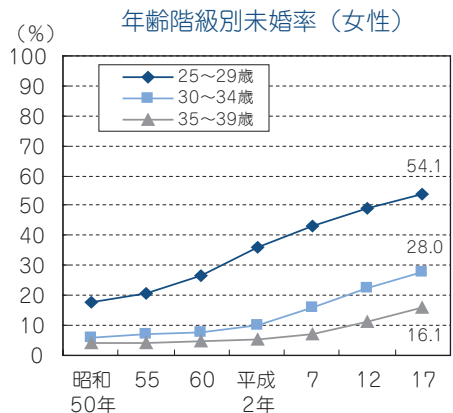
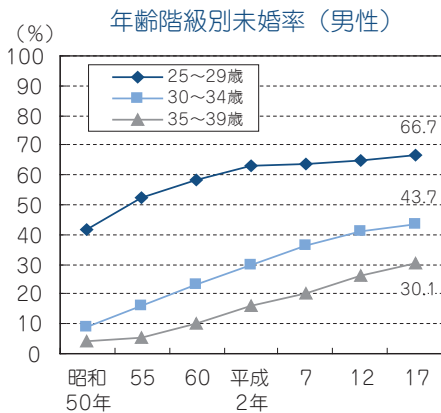
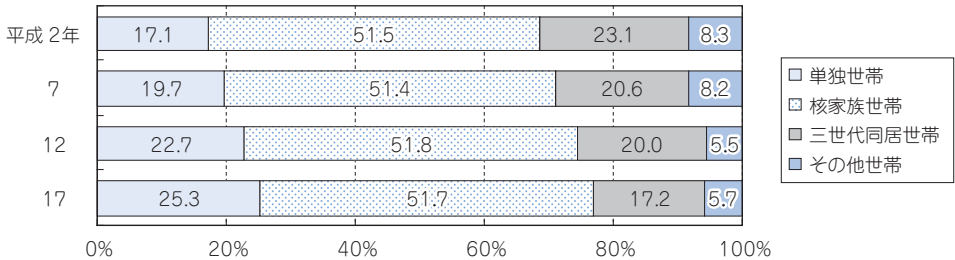
世帯に関する指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
1世帯当たり人員（一般世帯）	2.83人	11	2.55人	17
核家族世帯割合 （一般世帯に占める割合）	51.7%	42	57.9%	17

親族人員別一般世帯数の割合



家族類型別一般世帯割合の推移

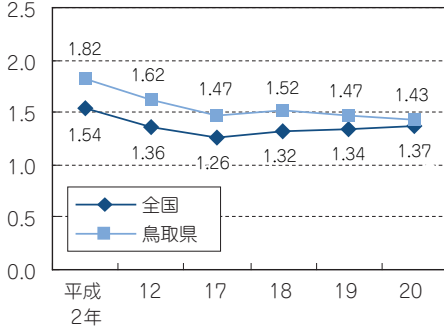


資料 総務省統計局「国勢調査」

## 出生・死亡率の指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
出生率(人口千人当たり)	8.3	31	8.7	20
死亡率(人口千人当たり)	11.3	8	9.1	20

## 合計特殊出生率の推移



資料 厚生労働省「人口動態調査」

※「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値である。

合計特殊出生率

$$= \left( \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \left[ \begin{array}{l} \text{女子人口は15歳から} \\ \text{49歳までの合計} \end{array} \right] \right)$$

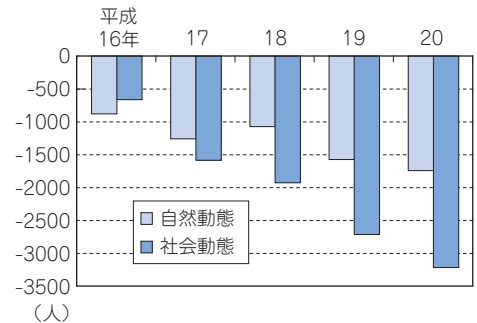
これは、年齢構造の影響を除いた出生率の水準を示す指標であり、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

## (人口動態)

平成20年の人口移動調査によると、出生数は4,921人、死亡数は6,656人で、平成19年に比べ、出生数は130人の減少、死亡数は38人の増加となっています。その結果、自然動態は1,735人の減少となり、平成19年に比べ、減少幅は168人分大きくなっています。

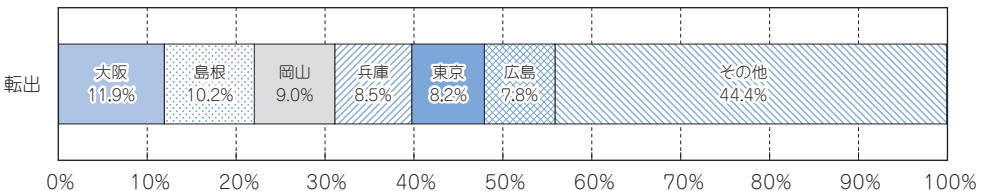
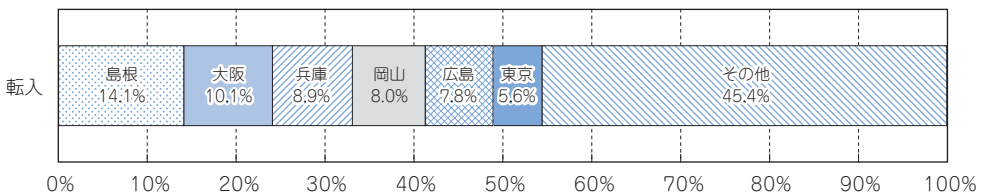
また、県外からの転入者数は10,938人、県外への転出者数は14,140人で、平成19年に比べ、転入者数は1,011人の減少、転出者数は511人の減少となっています。その結果、社会動態は3,202人の減少となり、平成19年に比べ、減少幅は500人分大きくなっています。

## 人口動態の推移



資料 県統計課「鳥取県人口移動調査」

## 県外移動者の前住地・転出先 (平成20年1月1日～12月31日)



資料 県統計課「鳥取県人口移動調査」